

## 第4回立山町公共交通活性化協議会の骨子

### 【今回の会議の目的】

- 「町の背骨」である富山地方鉄道立山線に実際に乗車することにより、その存在意義等について理解を深める。
- 町の公共交通の活性化に向けた「課題設定」「取組の方向性（基本方針と同一のイメージであり、基本理念の議論の基となるもの）」「役割・責任の分担」「施策・事業」等を議論し、骨格を決定する。
- また、決定した骨格を踏まえ、「望ましいサービスレベル」「数値目標」「評価・検証」等について、率直な意見交換を行う。

### ■ 次 第

- 現地視察（富山地方鉄道立山線）
- 本会議
  - 前回までの振り返り
  - 諸般の報告
  - 課題、取組の方向性、役割分担、施策の骨格決定（協12、13、15）
  - 望ましいサービスレベル、目標（数値目標）、評価方法等に係る意見交換（協16）
  - 令和6年度事業及び決算の承認（協14）

### ■ タイムスケジュール

- [12：10] 集合（五百石駅）
- [12：16～12：57] 五百石駅～立山駅（普通8317）
- [13：15～15：45] 本会議@グリーンビュー立山
- [16：03～16：37] 立山駅～五百石駅（特急TY2）
- [16：40] 解散

### ■ 補 足

現地視察は、富山地方鉄道様様の解説付きとし、その費用は、協議会予算から支出予定。

## 第 4 回本会議の議事及び時間配分について（案）

### 1 議事について

前回までの振り返り、議論の進め方等について

報告事項第 17 号 令和 6 年度予算に係る流用について

第 18 号 令和 7 年度予算に係る流用について

第 19 号 立山町地域公共交通計画の策定に関する最近の動向について（その 2）

(1) 第 22 回多手山プロジェクトの実施結果について

(2) 広報たてやま 5 月号への公共交通特集記事の掲載について

(3) 立山駅開業 70 周年記念プロジェクトについて

(4) 富山地方鉄道バス立山町役場前停留所の待合ベンチの更新について

(5) 富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会 第 1 回立山線・不二越上滝線分科会について

第 20 号 国庫補助金及び県費補助金の活用について

第 21 号 立山町地域公共交通計画策定業務の概要について

協議事項第 12 号 立山町の公共交通の課題、施策、取組の方向性等について

第 13 号 立山町の公共交通全体における関係者の役割について

第 15 号 立山町の公共交通全体における関係者の責任について

第 16 号 立山町の公共交通における望ましいサービスレベル、目標（数値含む）、評価・検証等について

第 17 号 立山町地域公共交通計画（素案）について

第 14 号 令和 6 年度事業実績及び決算について

その他

< 説 5 分 >

< 説 15 分 >

< 説 25 分 + 議 90 分 >

< 説 5 分 + 質 3 分 >

< 7 分 >

### 2 時間配分について

所要時間は、2 時間 30 分（現地視察を含めた場合、4 時間 30 分）とする。

#### 〔凡例〕

説：説明時間、質：質疑応答、議：議論・意見交換

(本会議)

● 本会議－1 設立総会（令和6年3月26日開催）

● 本会議－2 第1回本会議（令和6年8月26日開催）

● 本会議－3 第2回本会議（令和6年12月26日書面開催）

(WG)

● WG－1 第1回交通WG（令和7年1月23日開催）

● 本会議－4 第3回本会議（令和7年2月28日開催）

- 一定程度まとまった現況分析、意識調査等の結果を基に、**前回から本格的に計画の議論をスタート。**
- 前回は、委員**15人のご参加**の下、計画の軸となる「**課題**」「**施策**」「**取組の方向性**」「**役割分担**」について、**自由に意見交換。**
- これに第1回交通WGで得たご意見を含め、別紙「協議会の意見と対応」を取りまとめ。
- 主なご意見には、交通事業者を中心に「**運転手不足・人手不足**」への強い課題感を訴えるものや計画等における「**関係者ごとの役割定義**」の必要性を指摘するもの、今後は「**まちづくりや他分野との連携・共創による施策展開が必要**」とするもの等がみられた。

- **議論**は、原則、設定したテーマごとに以下の**3つのフェーズ**の順で進める。
- なお、実現可能性の検討（課題等の洗い出し含む）等**構成員内の意見調整**については、**2と3との間で行っていただく**ことを想定（3は、調整後の合意となるイメージ）。



01

## 自由意見交換

- ・ 例示等を基に、各団体の実情等を踏まえた意見交換を行うフェーズ。この段階では事務局案は提示しない。



02

## 骨格決定

- ・ 前回の自由意見交換（フリーディスカッション）で出たご意見等を踏まえ、事務局が調整した案を基に、意見交換を行い、大筋での合意を目指すフェーズ。



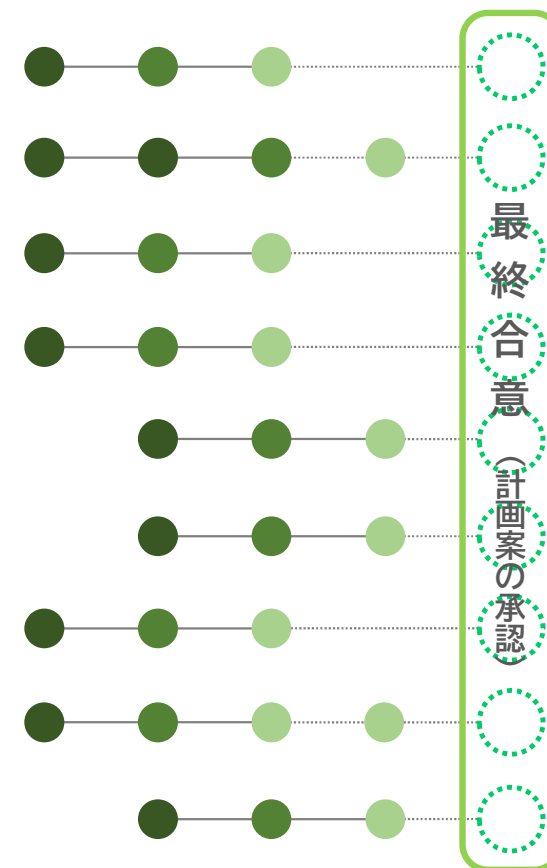
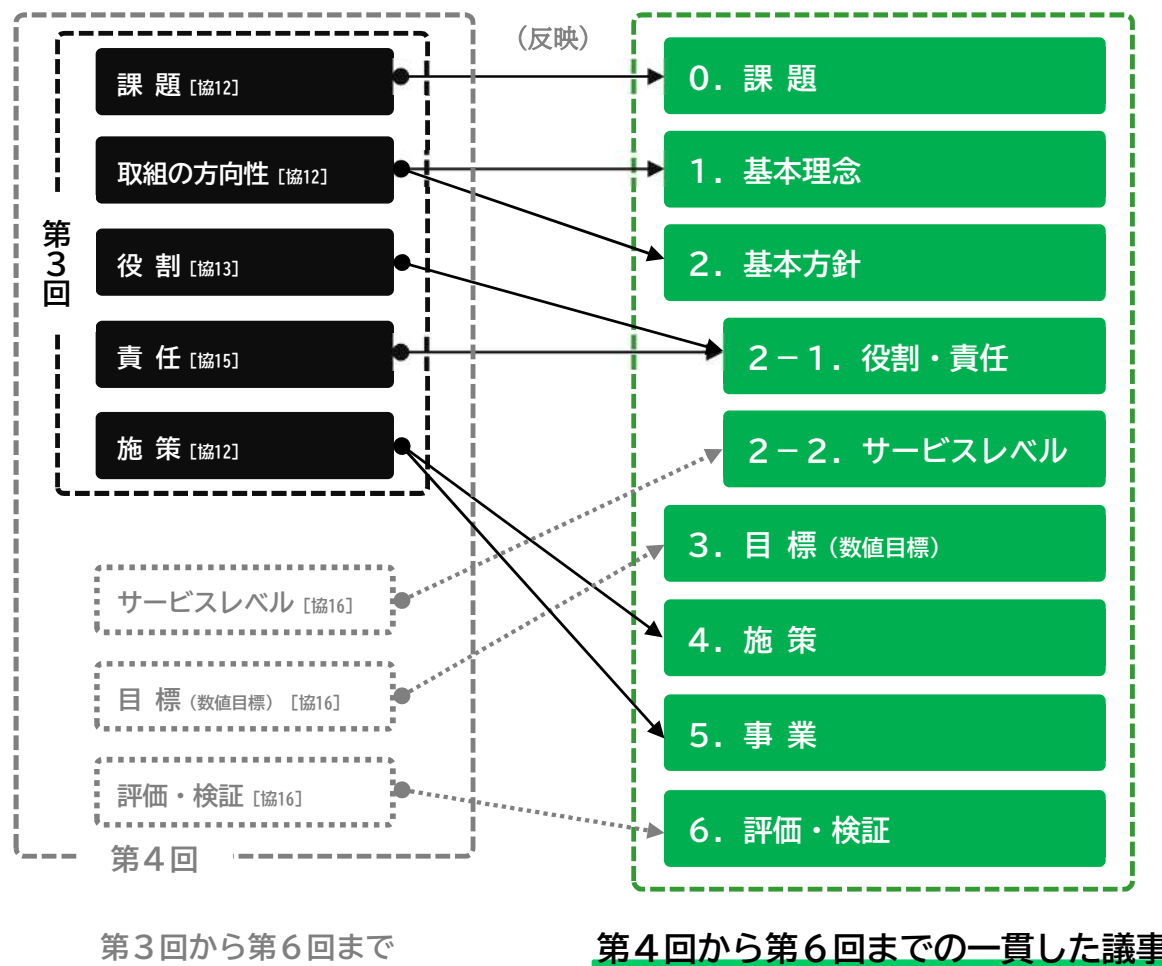
03

## 合意

- ・ 前回大筋合意した案を基に、構成員内での意見調整結果を反映させ、素案に組み込むフェーズ。

| 項 目             | 第4回                                      | 第5回                                            | 第6回                      |
|-----------------|------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------|
| 全 体             | 細部の議論<br>(2回目)                           | 細部の議論<br>(3回目)                                 | 素案の了承<br>(パブコメへ)         |
| 0. 課題           | ② 前回の「課題」の議論を踏まえた基本理念案を基に意見交換し、骨格を決定     | ③ 計画素案に記載する「課題」の合意                             | —                        |
| 1. 基本理念         | ①ー2 基本方針案等を基に意見交換（骨格決定までは求めない）           | ② 前回の「取組の方向性」の議論を踏まえた基本理念案を基に意見交換し、骨格を決定       | ③ 計画素案に記載する「基本理念」の合意     |
| 2. 基本方針         | ② 前回の「取組の方向性」の議論を踏まえた基本方針案を基に意見交換し、骨格を決定 | ③ 計画素案に記載する「基本方針」の合意                           | —                        |
| 3. 目標<br>(数値目標) | ① 候補の例示を基に意見交換（フリーディスカッション）              | ② 前回の「目標（数値目標）」の議論を踏まえた目標（数値目標）案を基に意見交換し、骨格を決定 | ③ 計画素案に記載する「目標（数値目標）」の合意 |
| 4. 施策           | ② 前回の「施策」の議論を踏まえた施策案を基に意見交換し、骨格を決定       | ③ 計画素案に記載する「施策」の合意                             | —                        |
| 5. 事業           | ② 前回の「施策」の議論を踏まえた事業案を基に意見交換し、骨格を決定       | ②を踏まえた構成員内での調整期間（予算面含む）                        | ③ 計画素案に記載する「事業」の合意       |
| 6. 評価・検証        | ① 候補の例示を基に意見交換（フリーディスカッション）              | ② 前回の「評価・検証」の議論を踏まえた施策案を基に意見交換し、骨格を決定          | ③ 計画素案に記載する「評価・検証」の合意    |

# 個別協議事項と計画素案の関係性について



## 個別協議事項

- 計画を構成する項目のうち、重要と位置付けるもの。
- 協議結果は素案に反映させ、その後の素案の協議の中で必要に応じて加筆修正していく。

## 計画素案 [協17]

- 個別協議事項のみならず、計画への法定記載事項等を含むもの。
- 第6回での合意を目指し、議論を進める。

## (参考) 議論のスケジュール

- : 自由意見交換フェーズ
- : 骨格決定 (意見調整) フェーズ
- : 合意フェーズ
- : 最終合意フェーズ

# 計画策定スケジュールの前倒しについて

- 国においては、**国庫補助制度と地域公共交通計画との連動化**が進められており、補助申請時には、**取組が計画上に位置付けられている必要がある。**
- 現在、今後の対応を検討中である富山地方鉄道(株)鉄道線については、廃線検討も報道されるなど**切迫した状況**にある中、**結論が定まったタイミングで速やかに対応できるよう**早期に体制を整えておくことが重要。
- 以上を踏まえ、今後の議論を注視しつつ、**計画作成時期を3月程度前倒し**する。

